

2018年3月期 (第2四半期) 決算説明会

amaze!ⁱⁿ
YamazeN.
驚きは、山善の中にある。

2017年11月21日

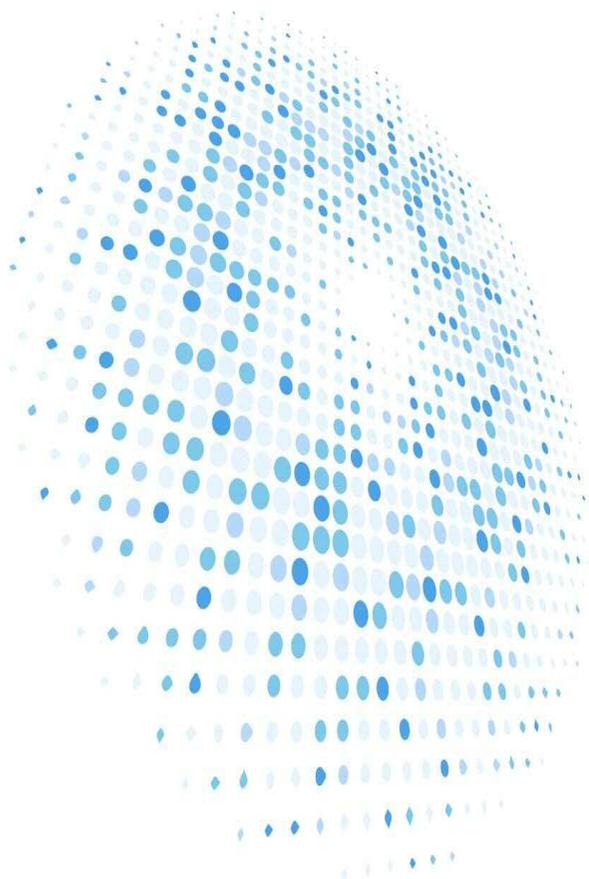
代表取締役社長(CEO&COO) **長尾 雄次**

証券コード: 8051

 株式会社 **山善**

AGENDA

- I. 2018年3月期(第2四半期)決算概要
- II. 「**ONEXT YAMAZEN 2018**」の進捗と
会社のトピックス
- III. 2018年3月期(通期)業績予想
- IV. 株主還元



はじめに



“変化対応業”と“不易流行”





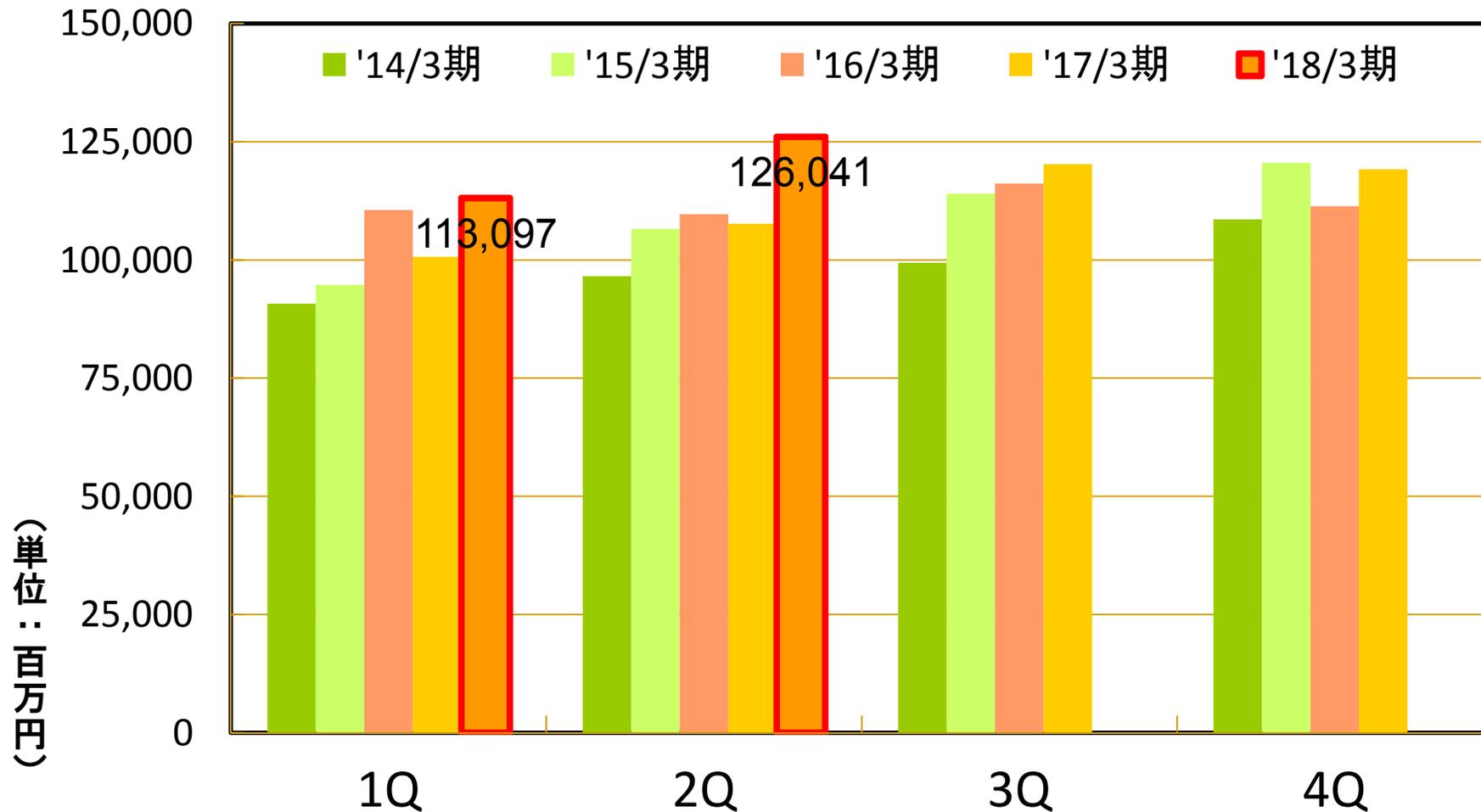
I . 2018年3月期(第2四半期)決算概要

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2017年3月期 (第2四半期)	2018年3月期 (第2四半期)	前 期 比 増 減 率 %	公表計画	公表計画 対 比 %
売 上 高	208,335	239,139	14.8	230,000	104.0
売上総利益	27,381	30,369	10.9	—	—
(総利益率)	(13.1%)	(12.7%)	(Δ0.4)		
販売管理費	22,249	23,721	6.6	—	—
営業利益	5,132	6,647	29.5	6,200	107.2
営業外損益	△ 26	△ 92	—	—	—
経常利益	5,105	6,554	28.4	6,300	104.0
特別損益	38	1	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,379	4,454	31.8	4,200	106.0

➤ 前年同期比で増収・増益。売上高・営業利益・四半期純利益は過去最高。

■ 四半期比較(過去5年)



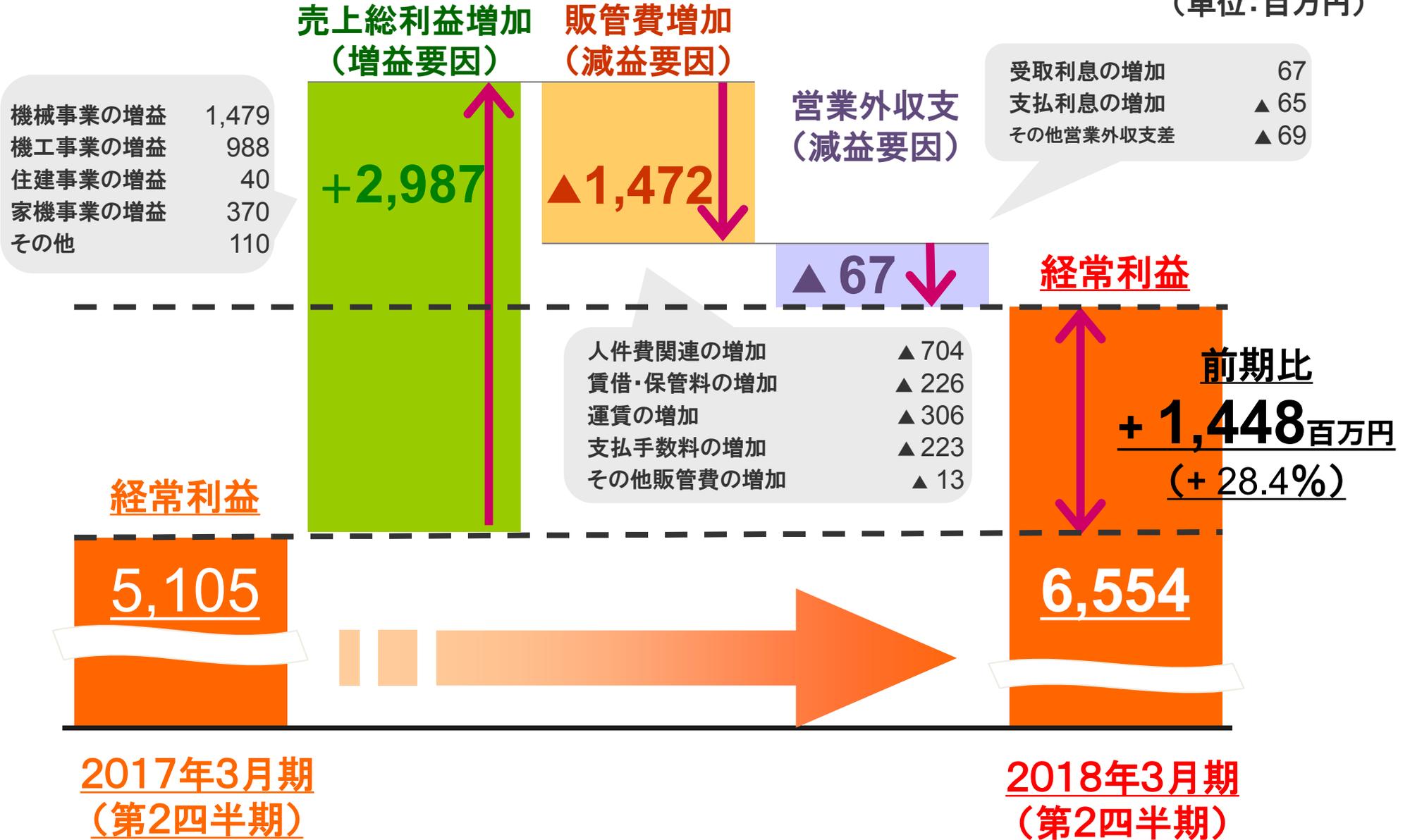
➤ 当第2四半期の売上高1,260億円は四半期売上高としては過去最高。

■ 事業別売上高／公表計画対比

(単位:百万円、%)	2017年3月期 (第2四半期)	2018年3月期 (第2四半期)	前期比 増減率%	公表計画	公表計画 対比%
機 械 事 業 部	57,584	79,293	37.1	69,600	113.9
機 工 事 業 部	80,652	88,177	9.3	86,500	101.9
(生産財関連計)	138,507	167,471	20.9	156,100	107.3
住 建 事 業 部	27,910	28,379	1.7	30,500	93.0
家庭機器事業部	38,005	38,919	2.4	39,000	99.8
(消費財関連計)	65,916	67,299	2.1	69,500	96.8
そ の 他 部 門	3,912	4,368	11.7	4,400	99.3
合 計	208,335	239,139	14.8	230,000	104.0

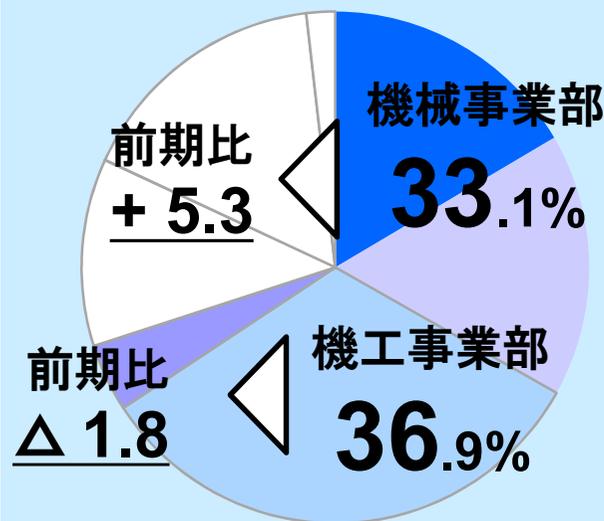
- 2017年4月1日付の生産財事業の機構改革により、セグメントが一部変更になっています。また昨年同期の実績は新セグメントに組み替えたものを表記しています。

(単位:百万円)



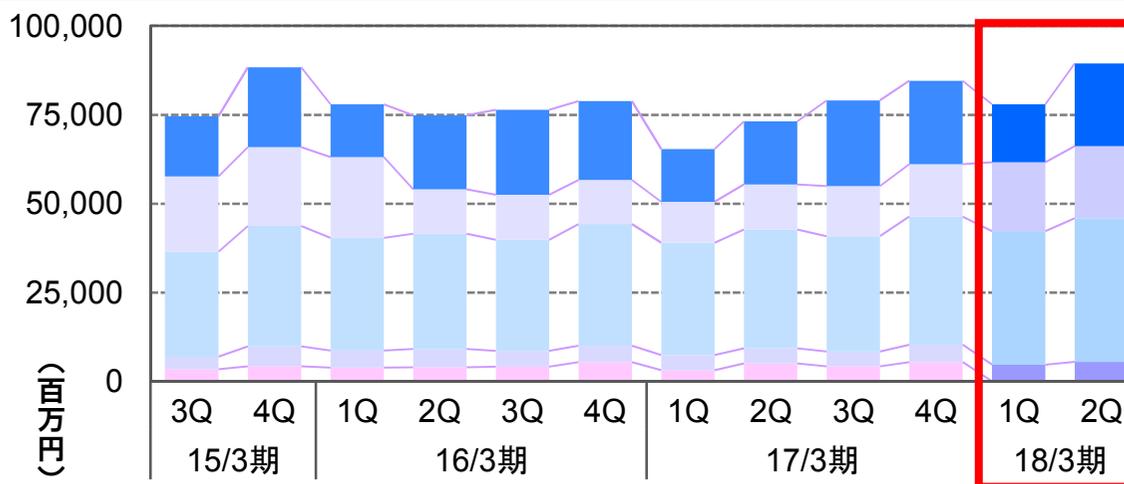
(単位:百万円)			前年同期	2018年3月期(第2四半期)		
生産財	生産財合計	売上高	138,507	167,471	(増減率)	20.9%
		営業利益	4,366	5,802	利益率	3.5%

売上高構成比



- 生産財統括の下に、それぞれ国内事業と海外事業を持つ機械事業部と機工事業部を設置。
- スマート・ファクトリー・ソリューション営業本部を設置し、国内6営業本部、海外4営業本部の計10営業本部体制へ。

四半期売上高推移(直近3年)



■ 生産財事業の売上高内訳

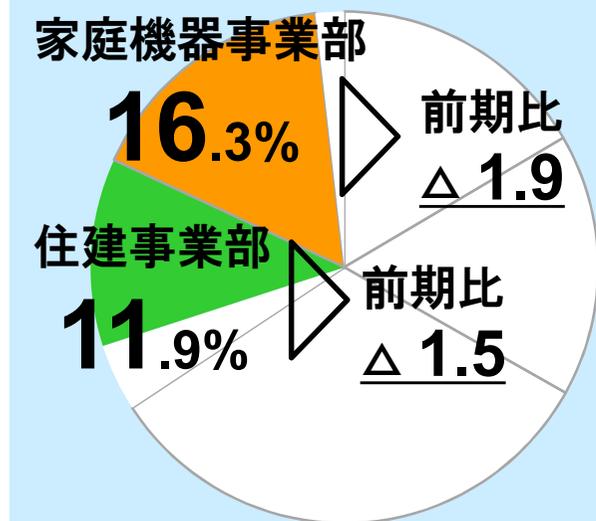
(単位:百万円)			前年同期	2018年3月期(第2四半期)		
生	機械事業部	(国内)	33,601	39,580	(増減率)	17.8%
		(海外)	24,253	39,713	(増減率)	63.7%
		合計	57,854	79,293	(増減率)	37.1%
産	機工事業部	(国内)	71,760	77,931	(増減率)	8.6%
		(海外)	8,892	10,246	(増減率)	15.2%
		合計	80,652	88,177	(増減率)	9.3%
財	生産財	合計	138,507	167,471	(増減率)	20.9%

- 国内機械事業では、好調な国内自動車生産や、半導体関連産業向けに工作機械の販売が増加したほか、幅広い業種で需要が伸長し、工作機械の受注が高水準で推移。
- 国内機工事業では、幅広い産業で設備投資が上向きとなり、物流設備、空調設備、自動化設備の受注が堅調に推移したほか、好調な工作機械の受注等により、周辺機器や切削工具等が堅調に推移。
- 海外機械事業では、中国市場において、EMSへの工作機械販売が引き続き伸長したほか、半導体関連や自動車関連産業からの引き合いも好調。アセアン市場でも主に日系企業からの設備投資を中心に工作機械の販売が増加。

(単位:百万円、%)	前年同期		2018年3月期(第2四半期)	
	売	上 高	売	上 高 (前年比)
大 阪 営 業 本 部		26,314	28,823	110%
東 日 本 営 業 本 部		35,523	40,531	114%
名 古 屋 営 業 本 部		17,854	19,187	107%
九 州 営 業 本 部		7,742	9,375	121%
広 島 営 業 本 部		6,178	6,354	103%
S F S 営 業 本 部		11,772	13,253	113%
U S A 営 業 本 部		5,445	6,488	119%
台 湾 営 業 本 部		6,113	13,764	225%
中 国 営 業 本 部		10,286	17,182	167%
アセアン営業本部		10,057	12,369	123%

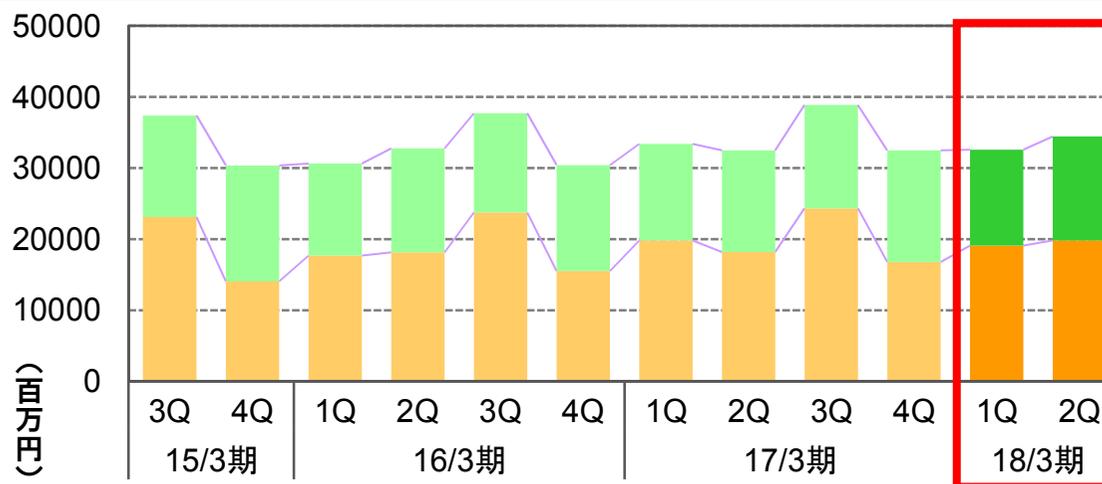
(単位:百万円)			前年同期	2018年3月期(第2四半期)		
消費財	住 建 事 業	売 上 高	27,910	28,379	(増減率)	1.7%
		営 業 利 益	627	675	利益率	2.4%
	家 庭 機 器 事 業	売 上 高	38,005	38,919	(増減率)	2.4%
		営 業 利 益	1,162	1,100	利益率	2.8%

売上高構成比



- 住建はリフォーム需要の回復を背景に主力の水廻り商品の販売が増加、業務用空調機器の販売も増加し、増収増益。
- 家庭機器は、天候不順の影響で主力の夏物季節商品の出荷の伸びに欠けるも、テレビ通販向けやネット販売が好調に推移。

四半期売上高推移(直近3年)





生産財

機械事業部

機工事業部

消費財

住建事業部

家庭機器事業部

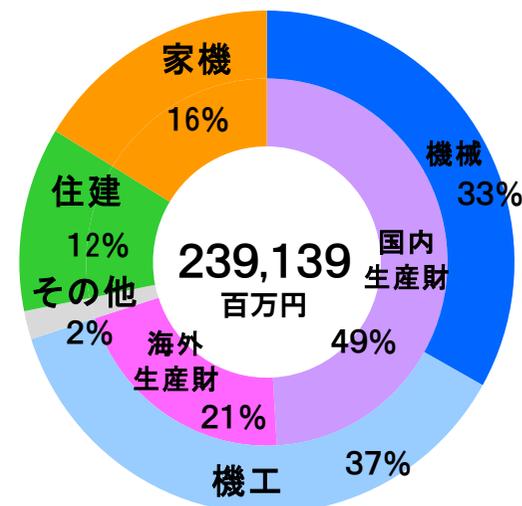
国内



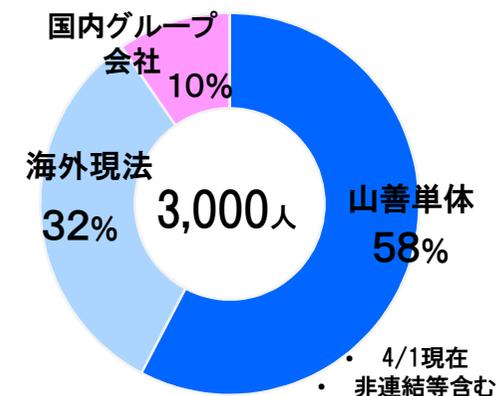
海外



売上高構成比



人員構成比



■ 貸借対照表

資産	負債・純資産
流動資産 1,944 (+40)	流動負債 1,369 (+22)
固定資産 333(+40)	固定負債95(+4)
	純資産 812 (+55)
総資産2,277(+81)	

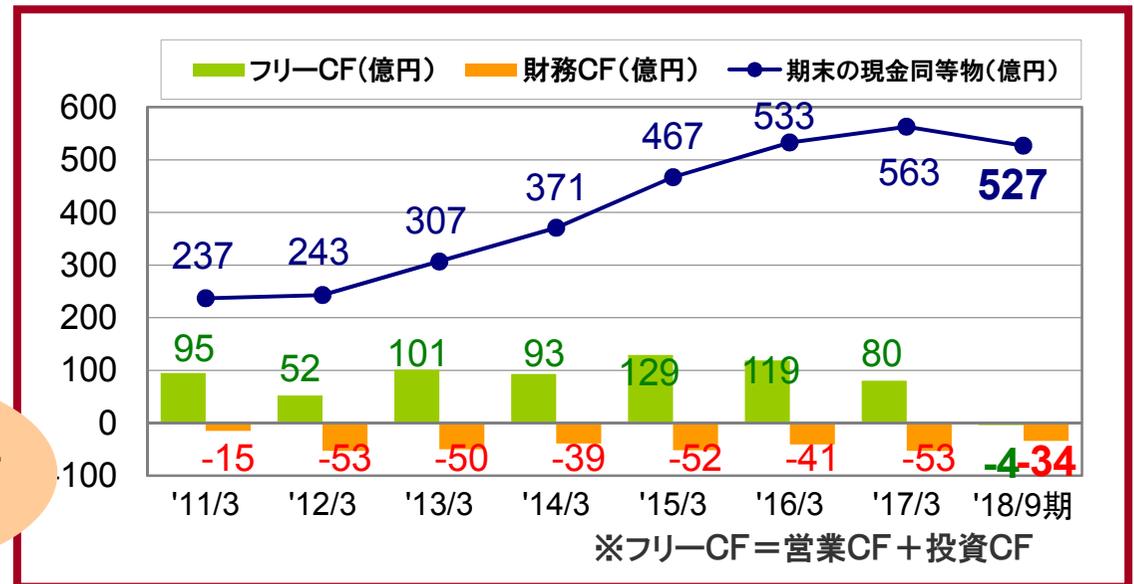
自己資本比率
35.5%

(2017年9月末現在/単位:億円)

■ 銀行借入金／純資産推移



■ キャッシュフロー推移

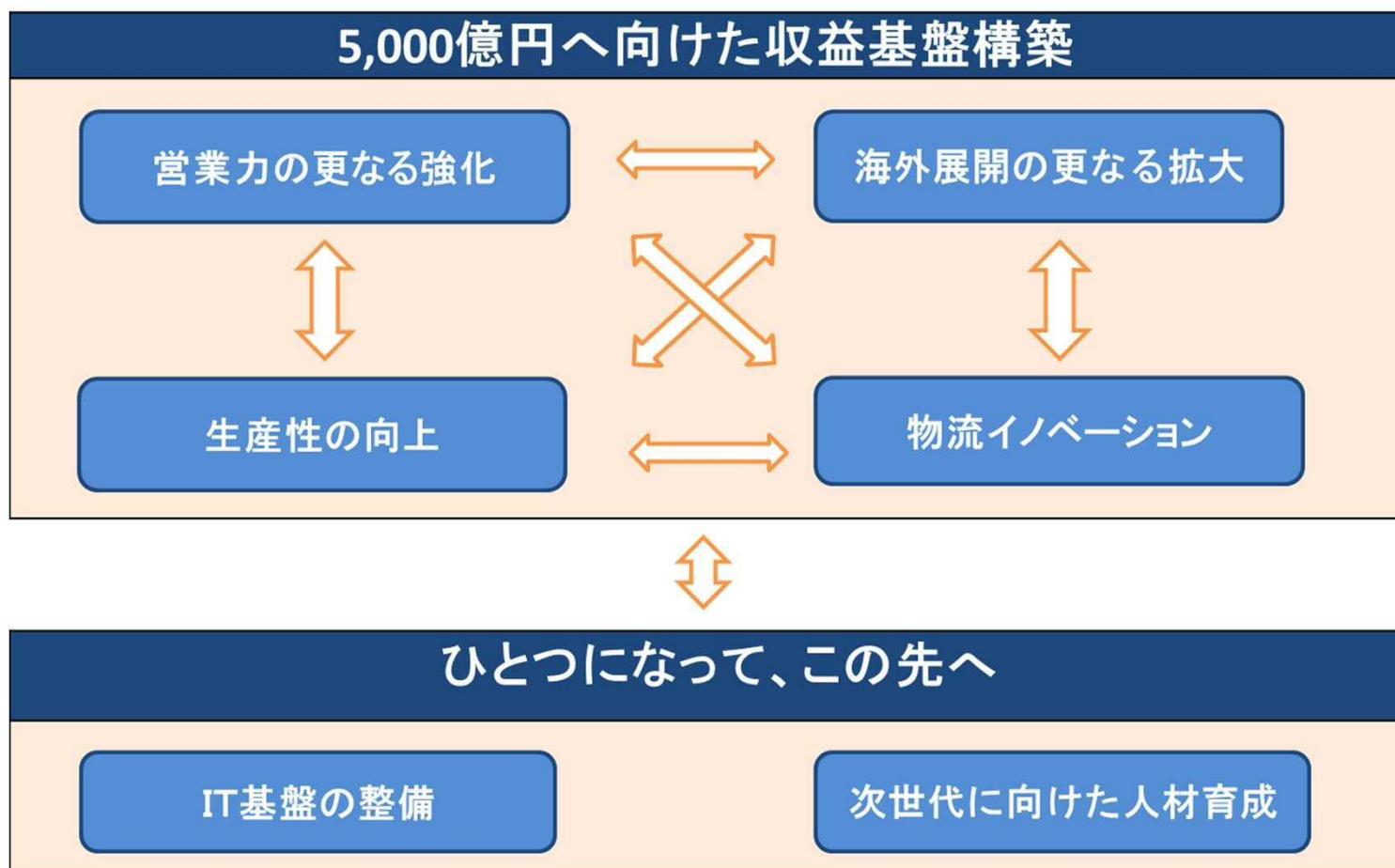




Ⅱ. 「ONEXT YAMAZEN 2018」の進捗と 会社のトピックス

ONEXT YAMAZEN

2018 ひとつになって、この先へ。

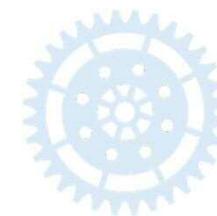


ONEX**T** 2018
YAMAZEN
ひとつになって、この先へ。



Next 1 (one) 生産性の向上

- Next 1-1) エンジニアリング機能の強化
- Next 1-2) eビジネスの更なる強化
- Next 1-3) 物流イノベーションの継続
- Next 1-4) ワークスタイル改革
- Next 1-5) 環境負荷の低減



Next 2 (two) 海外展開の拡大

- Next 2-1) グローバル・マーケティングの推進
- Next 2-2) グローバル・サプライチェーンの構築

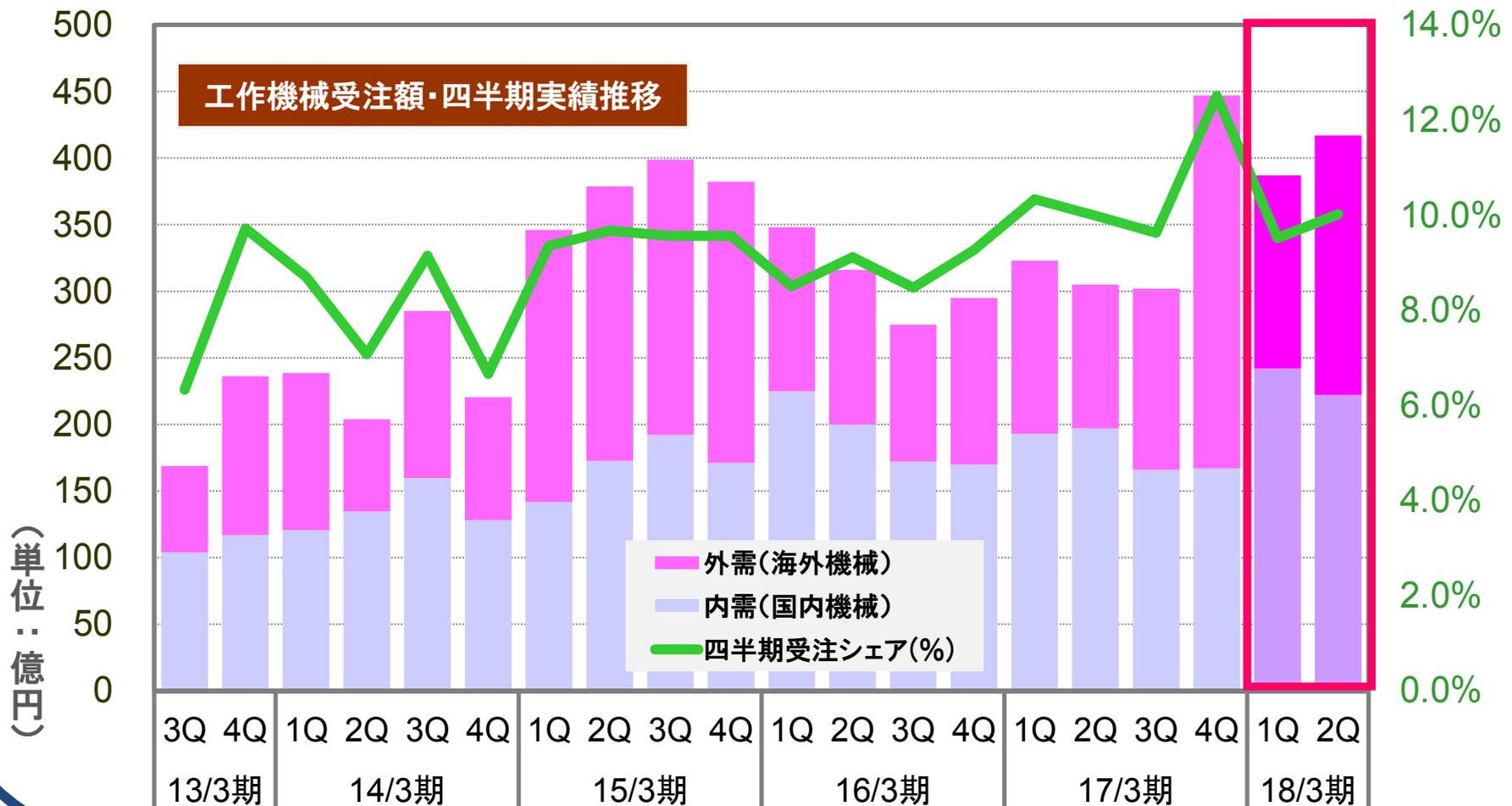


Next 3 (three) 次世代に向けた人材育成

- Next 3-1) 人材教育プランの策定
- Next 3-2) 中途採用／有資格者採用の推進
- Next 3-3) 女性管理職の育成



- 国内外工作機械上期受注額は806億円／シェアは10%。
 ◎ 国内では機能補充、海外ではエンジニアリング力強化で商圏拡大へ。



どてらい市®

- 40年以上続く、全国各地で開催されるメーカー、山善、販売店「三位一体」の展示即売会。

『どてらい市』とは、山善の創業者 山本猛夫をモデルにした小説「どてらい男(やつ)」に因んで命名された生産財商品から消費財商品までが一堂に展示され、実際の商品を「見て、触って、確かめて」商談を行う展示即売会。

■ どてらい市開催実績(4-9月)

名称	開催日
東北どてらい市	4/8~4/9
北部九州どてらい市	4/15~4/17
東北信どてらい市	5/20~5/21
新潟どてらい市	6/10~6/11
中部どてらい市	6/10~6/12
鹿児島どてらい市	6/10~6/12
米子どてらい市	6/17~6/19
大阪どてらい市	6/24~6/26
北海道どてらい市	7/8~7/9
長崎どてらい市	7/29~7/30
香川どてらい市	9/2~9/4
福山どてらい市	9/9~9/11



2017年度は全国24か所で開催予定。
上期は12か所で開催、のべ出展社2,300社
のべ来場者80,000人。

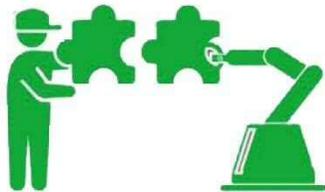


2017大阪どてらい市 (6/24-26 インテックス大阪)

製造現場の大きな変化への対応の要求
「自動化・省力化」・「生産性の向上」
「工場のIoT化」・「車のEVシフト」

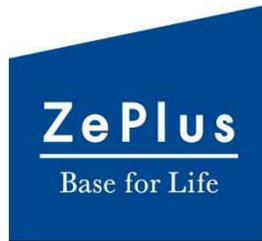
生産現場の悩み
「どこから手をつければ良いのか？」
「どうやって対応すれば良いのか？」

- 山善の強み
主要工作機械、ロボットメーカーを含め、
約3,000の仕入先を持ち、豊富なアイテム
で入口から出口までをトータルサポート



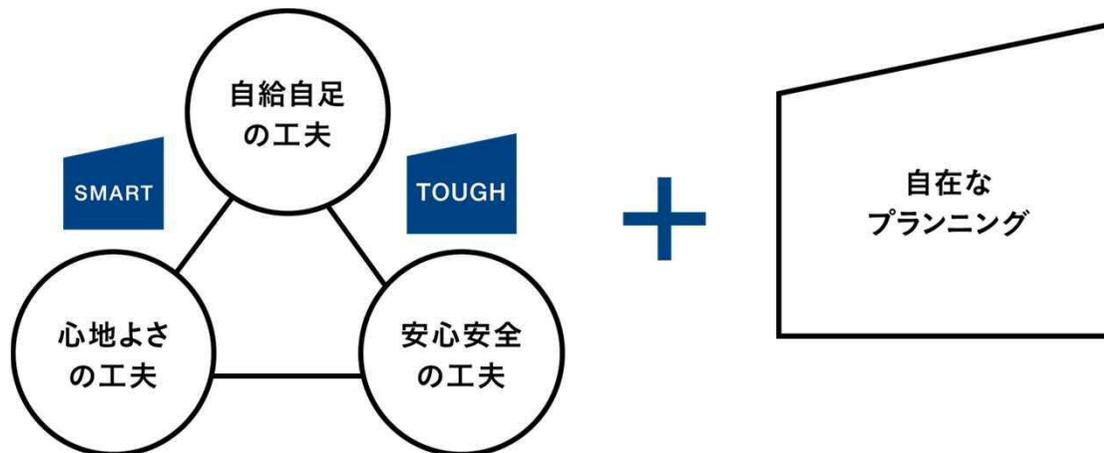
山善の取り組みの一例

- ① 「スマート・ファクトリー・ソリューション営業本部」の設置(2017年4月)
- ② 構想設計から製作まで一貫できるシステムインテグレーター
「東邦工業」の子会社化(2017年4月)
- ③ 中小企業にもわかりやすい自動化・省力化の提案
「バリ取りロボット」(2017年1月)



- 地場工務店向けに山善オリジナルパッケージのZEHを提案するとともに、プラスαの付加価値を備えたワンランク上の住宅、ZEHのひとつ上をいくコンセプト住宅「ZePlus」の展開

経済産業省は「2020年までにハウスメーカー等の建築する注文戸建て住宅の過半数でZEHを実現すること」を目標に掲げるが、複雑なエネルギー計算や申請の難しさから、ZEH登録ビルダー約5,600社の80%を占める中小工務店の80%が、実績0と普及が進んでいない。



- ZePlus[ゼプラス]の家づくりとは
- 環境にも家計にもやさしく賢く快適に。人生を欲張りに楽しみながら、家族の人生を守りつづける、TOUGHでSMARTな住まい。

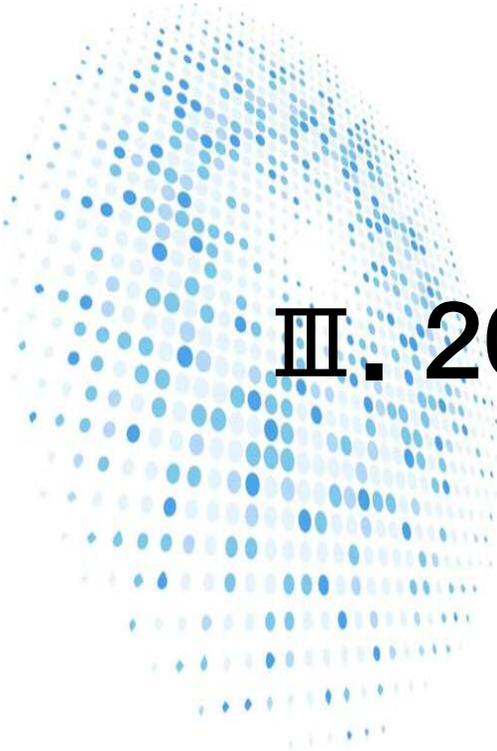


■ 損益計画(公表計画)

(単位:百万円)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (公表計画)	2019年3月期 (当初計画)
売上高	447,774	447,698	480,000	500,000
営業利益	13,258	13,113	14,000	14,700
経常利益	13,503	12,931	14,300	15,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,192	8,518	9,300	10,000

■ 主要財務指標(計画)

(単位:%)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (公表計画)	2019年3月期 (当初計画)
総資産営業利益率 (ROA)	6.5%	6.1%	6.4%	6.5%
総資本回転率	2.2回	2.09回	2.16回	2.17回
キャッシュフロー・ マージン率	3.4%	2.5%	3.3%	3.5%



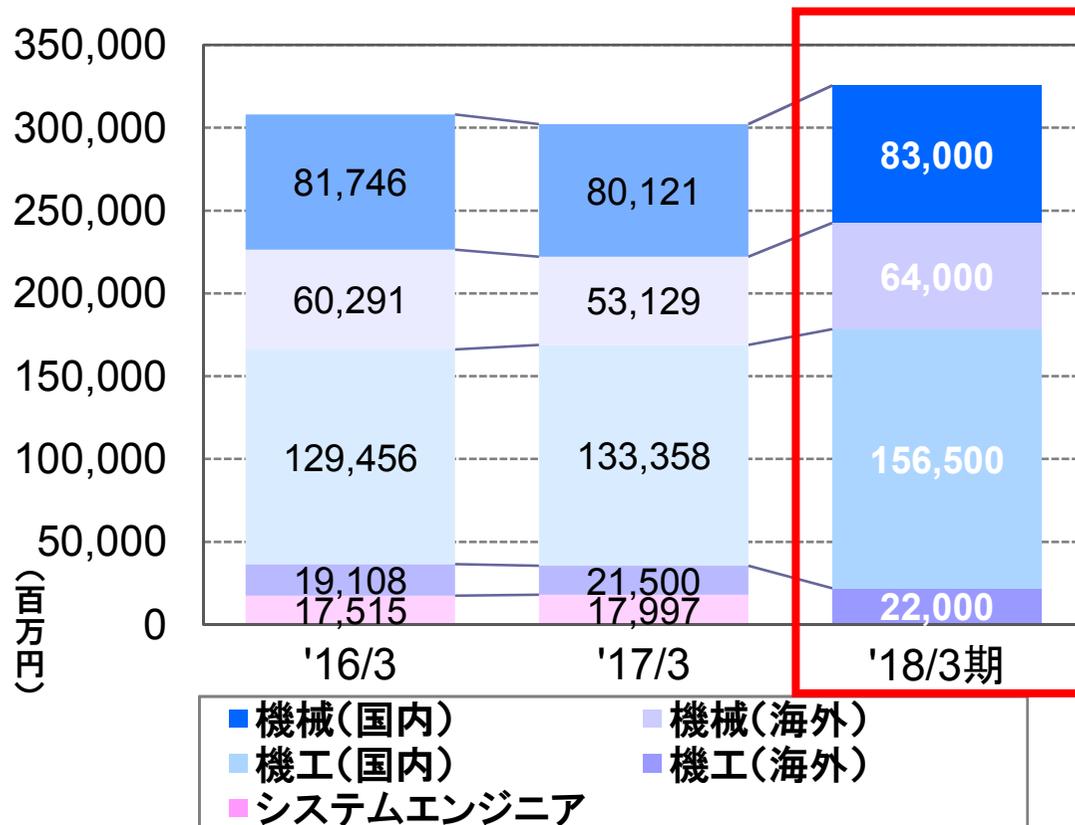
Ⅲ. 2018年3月期(通期)業績予想

 「ONEXT YAMAZEN 2018」第2年度として、目標に果敢にチャレンジ!

(単位:百万円)	2017年3月期(第71期)		2018年3月期(第72期)			
	2Q実績	通期実績	2Q実績	前期比 増減率%	通期計画	前期比 増減率%
売上高	208,335	447,698	239,139	14.8	480,000	7.2
営業利益	5,132	13,113	6,647	29.5	14,000	6.8
経常利益	5,105	12,931	6,554	28.4	14,300	10.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,379	8,518	4,454	31.8	9,300	9.2

(単位:百万円)		売上高計画 (増収率)	営業利益計画 (増益率)	(利益率)		
生産財事業合計	通期	325,500	7.7	11,300	8.9	3.5%

生産財事業 3カ年売上推移



※ 下期の計画数字は通期見込と2Q累計実績の差額

国内機工/仕入先上位100社売上計画

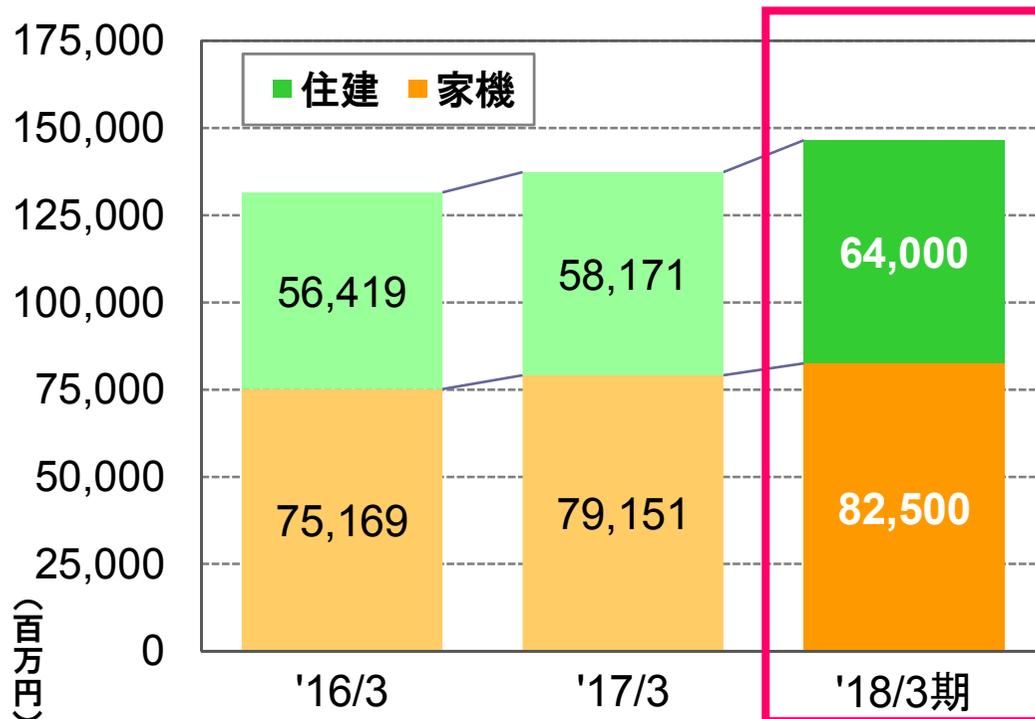
カテゴリー	'17/9	'18/3	進捗率
① マテハン	6,283	12,520	50%
② メカトロ	6,705	14,595	46%
③ 環境改善機器	4,054	6,910	59%
④ 流体機器	4,048	7,490	54%
⑤ 鉄骨加工機械	3,123	6,390	49%
⑥ 切削工具	7,709	15,670	49%
⑦ 補要工具	3,421	7,000	49%
⑧ 測定・計測	2,637	5,570	47%
⑨ 産業機器	12,749	25,765	49%
⑩ 空調設備機器	1,186	1,900	62%

(単位:百万円)

(単位:百万円、%)	第2四半期累計実績		通期計画	
	売	上 高	売	上 高 (進捗率)
大阪営業本部		28,823	59,210	49%
東日本営業本部		40,531	82,690	49%
名古屋営業本部		19,187	39,180	49%
九州営業本部		9,375	17,880	52%
広島営業本部		6,354	13,040	49%
S F S 営業本部		13,253	27,500	48%
U S A 営業本部		6,488	13,622	48%
台湾営業本部		13,764	17,861	77%
中国営業本部		17,182	29,082	59%
アセアン営業本部		12,369	23,205	53%

(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
住 建 事 業 部	通期	64,000	10.0	1,700	18.5	2.7%
家庭機器事業部	通期	82,500	4.2	2,800	0.1	3.4%

消費財事業 3カ年売上推移



■ 住建/カテゴリー別売上計画

	カテゴリー	'17/9	'18/3	進捗率
①	水廻り・給湯	13,155	28,000	47%
②	環境・空調・太陽光	9,674	23,000	42%
③	建設資材・他	5,547	13,000	43%

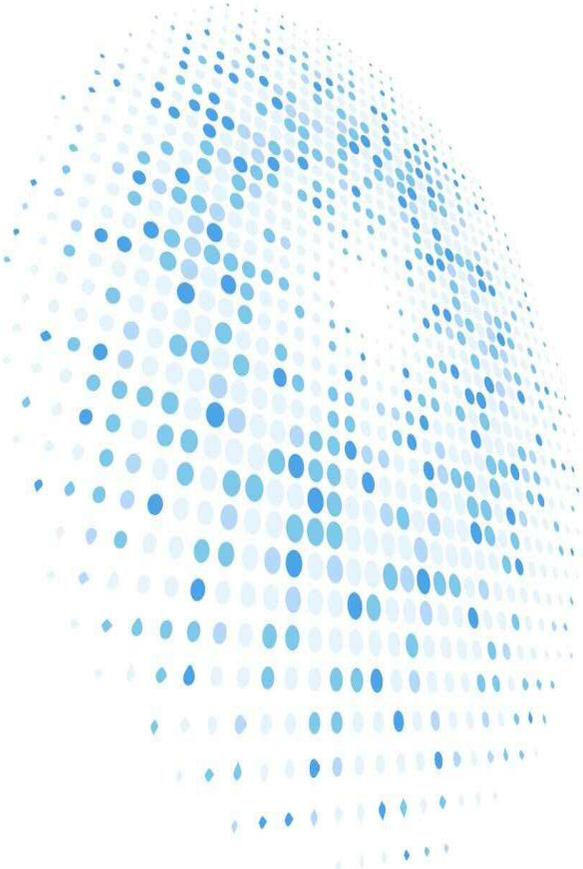
■ 家庭機器/PB売上計画

	カテゴリー	'17/9	'18/3	進捗率
①	生活家電	11,353	26,650	43%
②	インテリア	5,060	10,500	48%
③	エクステリア・レジャー	3,916	7,200	54%
④	工具・園芸	2,146	3,900	55%

(単位:百万円)

(単位:百万円)		生産財	消費財		その他	合計
			住	建		
売上高	前期実績	302,187	58,171	79,151	8,188	447,698
	当期計画	325,500	64,000	82,500	8,000	480,000
	前期対比	107.7%	110.0%	104.2%	97.7%	107.2%
営業利益	前期実績	10,373	1,434	2,797	△1,493	13,113
	(利益率)	3.4%	2.5%	3.5%	—	2.9%
	当期計画	11,300	1,700	2,800	△1,800	14,000
	(利益率)	3.5%	2.7%	3.4%	—	2.9%
	前期対比	108.9%	118.5%	100.1%	—	106.8%
	(増減)	+0.1	+0.2	△0.1	—	±0.0

※為替レート=前期:108.34円 上期:111.04円(期中平均) / 下期計画:112円



IV. 株主還元

■ 配当金の推移

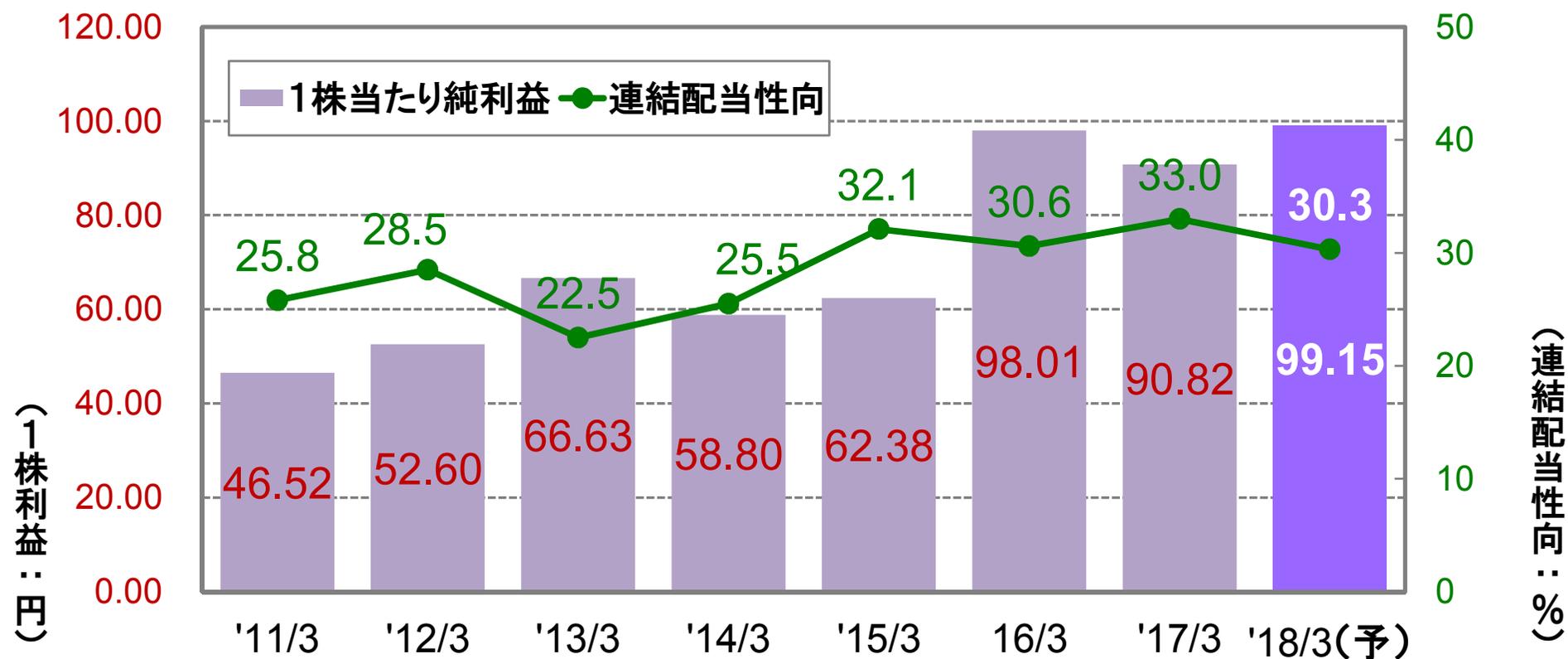
		'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3 (予)
連結配当性向(%)		25.8	28.5	22.5	25.5	32.1	30.6	33.0	30.3
配当金額 (円)	中間	5.0	7.0	7.0	7.0	8.0	12.0	*13.5	13.0
	期末	7.0	8.0	8.0	8.0	12.0	*18.0	*16.5	17.0

*は特別配当、記念配当を含む

□ 利益配分に関する基本的な考え方

- △ 安定した財務基盤の確立と収益力の向上を図り、株主の皆様への安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し利益還元を行うことを基本方針とします。
- △ 現3カ年中期経営計画では連結配当性向30%を目途に配当を実施し、さらなる配当水準の向上に努めてまいります。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展に繋がる有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

- 2017年3月期の記念配当3円を普通配当に組入れ、
年間で1株当たり30円の配当(中間配当13円、期末配当17円)を予定。
- 1株当たり当期純利益99.15円、連結配当性向 30.3%を予定。



経営理念

人づくりの経営

人を活かし 自業員を育成する

切拓く経営

革新と創造に挑戦する

信頼の経営

期待に応え 社会に貢献する

自主自律の考動指針

私たちは

- 一、基本と原則を守り
能力の開発と向上に努めます
- 一、使命と責任を果たし
相互信頼の絆を深めます
- 一、活力にあふれた行動で
明るい職場をつくります

切拓く
BREAKTHROUGH

二〇一七年 山善グループ経営スローガン

私たちは勢いのある会社を目指し

自らを大胆に変革して

全員で新たな時代を切拓こう

有言実行

自らの役割を認識し
やり遂げる強い信念を持って
最高の結果を勝ち取ろう



この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

本資料、個別ミーティングに関するお問い合わせ先

経営企画本部 経営企画部 広報・IR室

TEL: 06 - 6534 - 3095 / FAX: 06 - 6534 - 3280

e-mail: info06@yamazen.co.jp